

相互台小

地域の方々と米作りに汗



これがイチオシ

6年生演奏「相小太鼓」

相互台小学校では、学習発表会で毎年6年生が「相小太鼓」の発表をします。3人1組で交代しながら演奏します。たたく順番やリズムが決まっています。とても難しそうですが、地域の方にも教えてもらいながら、練習を頑張っていました。全員で掛け声をかけながら太鼓をたたき姿はとてもかっこいいです。

1月になると、6年生から5年生への引き継ぎがあります。伝統を守りながら、昨年よりもさらにかっこいい演奏ができるよう、頑張りたいです。

学校名 名取市立相互台小学校
所在地 名取市相互台1の27の1
創立 1996年
電話 022(386)5551
校長 山田 里香
児童数 370人

相互台小学校では、毎年5年生が米作りの活動を行っています。1年を通して地域の方々に協力していただきながら、いろいろな活動を行います。まず、5月ごろに田植えをします。足が土に埋まってしまえば大変ですが、地域の方々に丁寧に教えていただきながら、苗を真つすぐに植えることができました。

6月ごろには、野生動物から稲を守るためにかかし作りをします。わらや布など、地域の方々が用意してくださった材料を組み合わせて、個性豊かなかかしを完成させました。7月、みんなで作ったかかしを田んぼに立てたとき、とても誇らしい気持ちになりました。9月には、稲刈りをします。稲が大きく育ち、黄金色に染まった田んぼの景色は、とてもきれいです。鎌を使い、手作業で刈るのは大変ですが、刈り終わった後は達成感でいっぱいでした。



稲刈りをする子どもたち
編集委員 会田絢音、阿部瑚真、岩崎恋叶、斉藤ゆず、桜井咲織、佐藤充希、住吉虹南、津志由伊織(6年)
指導教員 荒川幸香、高橋悠人、本田春花

5年生、大変さを実感

わが校わがまち スクール通信



今回は 青生小(美里町) 長町南小(仙台市)

打囃子と獅子舞 受け継ぐ

津山小

4・5・6年生 地域へ披露



これがイチオシ

縦割り班で町きれいに

津山小学校では、毎年10月に「クリーン作戦」を行っています。縦割り班で地域のごみを拾い、津山の豊かな自然やきれいな町を守る活動です。

今年も、学校近くの給食センターの周りや河川敷などのごみを拾いました。多くのペットボトルや缶、壊れたボールや時計まで回収し、たくさんのごみがあることに驚きました。ごみを拾い、地域をきれいにできたことで、達成感を味わうことができました。これからも、大切な地域の自然を守り続けていきたいです。

学校名 登米市立津山小学校
所在地 登米市津山町柳津本町57
創立 2023年
電話 0225(68)2009
校長 佐藤 善威
児童数 53人

津山小学校では、地域の宝である二つの伝統芸能、「つやま打囃子」と「横山火伏の獅子舞」を受け継いでいます。打囃子は、力強い太鼓と、美しい笛のメロディが一つになったお囃子です。4・5年生は、6年生や保存会の方々に教わりながら、独特なリズムの打ち方を一生懸命に練習します。獅子舞は、大きな獅子の頭をかぶり、火事を防ぎ、無病息災を願う神聖な舞です。練習では、リズムや動きを合わせるのに苦労することもありますが、しっかりと練習しています。この打囃子と獅子舞は、私たちがいなければなくなってしまうかもしれせん。だからこそ、私たちが津山の伝統芸能を、未来へ力強く受け継いでいきたいと思っています。



①運動会で演じた横山火伏の獅子舞②ふれあい大鼓③n横山不動尊④つやま打囃子春まつり⑤学習発表会で演奏したつやま打囃子
編集委員 小野寺瑠奈、千田帆菜、林美羽、山田虎太郎(6年)
指導教員 矢口壮哉

山神社の春の例大祭とみこし巡行があった。地元の子どもたちが五穀豊穣と無病息災を願いながら約7キロを練り歩いた。小中学生30人と氏子ら計約60人が参加。小高い山にある神社を出発し、大人が担ぐ本みこしと子どもが引くみこしの計2基が約5時間かけて地区内を回った。法被姿の子どもたちは太鼓の音に合わせて「わっしょい、わっしょい」と元気よく声を上げて歩いた。

みこし 地域に元気と笑顔

柴田・山神社 小中学生ら巡行



柴田町四日市場地区で29日、山神社の春の例大祭とみこし巡行があった。地元の子どもたちが五穀豊穣と無病息災を願いながら約7キロを練り歩いた。小中学生30人と氏子ら計約60人が参加。小高い山にある神社を出発し、大人が担ぐ本みこしと子どもが引くみこしの計2基が約5時間かけて地区内を回った。法被姿の子どもたちは太鼓の音に合わせて「わっしょい、わっしょい」と元気よく声を上げて歩いた。

(3月31日朝刊より)

本のプロ 推しの二冊



一人旅 ドキドキワクワク

南極にすんでいるペンギンのトビオは、初めて1人で旅に出かけることにしました。出発の日の朝、親切なことをしてくれた人にお礼にあげるつもりで、トランクに氷と魚をたくさん詰め、小さいかばんを肩からかけ、飛行機に乗るために1人で空港に向かいます。空港にはたくさんの人や動物たちがいて、トビオが初めて見るものばかりです。危険物がないか調べる門のような機械、勝手に動く道、大きな飛行機…。果たしてトビオは、ちゃんと飛行機に乗ることができるでしょうか？そしてトビオはなぜ旅に出ようと思ったのでしょうか？初めての旅のドキドキワクワクが詰まった本です。カラーで描かれた挿絵から、トビオが見る世界の美しさや、旅の中で出会うたくさんの動物たちの楽しい様子が伝わってきます。ぜひ読んでみてくださいね。小学校中学年から。(仙台市榴岡図書館 清水もなみ)